元気いっぱい ベスト8激突

第6回市民タイムス杯少年サッカー新人戦

第六回市民タイムス杯少年サッカー新人戦は十七日、松本市島内のあずさ運動公園で準々決勝からの試合が行われ、旭町スポーツ少年団が清水を5−3で破り、二度目の優勝を飾った。

ベスト8の激突となったこの日は、上松チームが授業参観日に当たったため棄権となったが、チビっ子イレブンたちは市民タイムス杯をめざし8強にふさわしい試合を展開した。色鮮やかなユニホームに身を包んだ子どもたちが元気いっぱいにグラウンドを駆け回る姿に、見守っていた父母たちからも盛んな声援が飛んだ。

試合後の閉会式では市民タイムスの古川寿一常務から優勝した旭町チームに優勝杯が贈られ、選手一人ひとりの胸に金メダルがかけられた。準優勝の清水にはトロフィーと銀メダル、三位の松島、ちの宮川チームにはそれぞれ銅メダルが贈られた。

中山英明競技委員長は大会講評で「決勝戦は両チームともに単純なミスからのファウルスローが多かったのは残念だったが、決勝戦らしいゲームだった。戦術、体力的にもこれからのチームだから、いい試合を多く観戦しサッカーを見る目を養ってほしい。サッカーはチームプレーであり、味方チームのひとりのミスを責めることをしないで、ミスをカバーしあう姿勢を守ってほしい」と指導を交えながら話した。

【決勝戦・旭町一清水】ゴールめざして走る旭町チーム

決勝にふさわしいゲームを展開

重そうに優勝杯をうける旭町チーム

【準決勝・清水一松島】父母の声援をうけボールを追う

父母たちも熱い声援

わが子の雄姿に喜ぶ父母たち

カガミグループ各務秀一企画室長からメダルをかけてもらう

【準々決勝・ちの宮川一島立】お互いに必死のPK戦

【準々決勝・池田一清水】ゴール前でボールを争う両チーム

17日の結果

▽準々決勝
- 清水 3（3−0、0−0）0 池田町
- 松島 不戦勝 上松
- ちの宮川 0（0−0、0−0）0 島立（PK6−5）
- 旭町 3（2−0、1−1）1 諏訪市

▽準決勝
- 清水 2（1−1、0−0）0 松島
- 旭町 4（3−0、1−0）0 ちの宮川

▽決勝
- 旭町 5（3−1、2−2）3 清水